

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス リズム		
○保護者評価実施期間	R6年 8月 1日		～ R6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	R6年 12月 1日		～ R6年 12月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	6
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出の機会を多く設け、普段できない経験、を提供している。	学校行事などの集団行動では対応が難しいことに焦点をあて、少人数支援の“リズム”だからこそできる楽しみ方(個々のペースや興味、我慢しないで楽しむこと)を意識している。	年齢や関心・関心、特性などに合わせた外出内容等も企画し、工夫していく。
2	子どもたちの安らぎの場所であること。	“当たり前”“普通”に縛られない、自分らしくあることを肯定できる環境づくりを心掛けている。強制ではなく自発的に取り組めるよう、決まった全体スケジュールは設定していない。	更なる自発性を促すために活動内容を一緒に考え、可能な限り子どもたちの希望を実現していく。
3	ご家族様の困りごとに対して臨機応変に対応する。	ご家族様の負担を少しでも減らせるよう、急な仕事や予定変更などには可能な限り対応できるよう、意識的に取り組んでいる。	家族様にも細やかなサポートを提供し、利用児童だけでなく家族様の安心できる場所、信頼できる場所になるよう努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全管理・危機管理について家族様に周知されていない。	安全管理に関する活動内容の報告が曖昧である、又は活動を安全管理の活動だと明言していないため、実施内容が伝わりにくい。	訓練等を実施した際には明確に表現し、報告する。プザーの設置や備蓄品など、設備的な内容の設定・変更に関しても報告していく。
2	決まった全体スケジュールがない。	個々の自発性、自分らしさを大切にしたいと考えているため、全体で何か決まった1つのことに取り組むことや参加することを積極的にしていない。	無理のない範囲で全体プログラムを組んで、希望があれば参加ができることを示していきたい。
3	学校的な学習に関する取り組みが少ない。	個々の興味や関心に焦点をおき、生きる力をそだてることに焦点を当てているため、学校的な勉強に関する内容に取り組む決まった時間を確保していない。	興味や関心の中で学校的な学習に繋がれそうなものは学年ごとの学習内容に囚われずに繋げていき、学習時間を確保する。